



# ほなるどる

## 令和3年度 決算状況

市は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、市長が「予算」案を作ります。

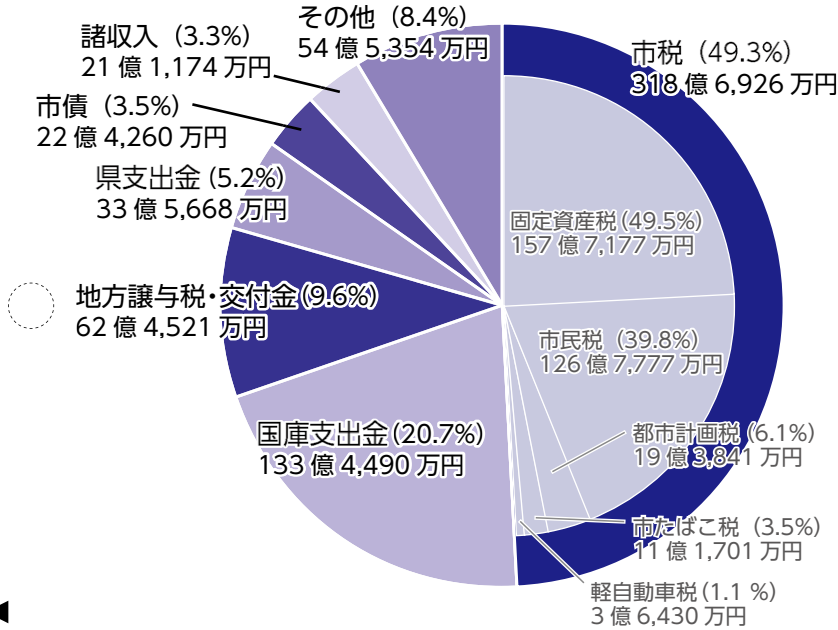
その案は、毎年3月に市議会で審議され決定します。

最終的に予算がどう使われたかを整理したものが「決算」です。

問合せ先 財政課 (☎ 76 - 1190)

**一般会計とは** 皆さんが納めた税金は、主にこの一般会計に使われています。

福祉や子育て・教育、道路整備などのまちづくりにかかる基本的な会計です。



収入の根幹をなす市税は減収となりました。これは、固定資産税が新型コロナウイルス感染症拡大に伴う課税標準額の特例措置の影響を受けたことなどによります。また、地方特例交付金、市債が増となった一方、国庫支出金、繰入金、繰越金が減となり、歳入総額は前年度に比べ18.2%の減となりました。

### 一般会計の歳入決算

## 総額 646億 2,393万円

#### 市税

市民が市に納める税金  
(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)

#### 国庫支出金

国が行うべき事業を市へ委託する場合の交付金など

#### 地方譲与税・交付金

国や県が徴収した税金の市への分配金  
(自動車重量譲与税、地方消費税交付金など)

#### 県支出金

県が行うべき事業を市へ委託する場合の交付金など

#### 市債

国や銀行などから調達する長期的な借入金

#### 諸収入

市預金利子、貸付金元利収入、雑入など

※内側の円グラフは、市税決算額内訳

### 一般会計の歳出決算

## 総額 613億 3,744万円

#### 民生費

子ども、高齢者、障がい者の福祉などの費用

#### 教育費

小・中学校の管理運営や施設整備および文化・スポーツ振興などの費用

#### 衛生費

健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用

#### 土木費

道路・公園の補修や建設などの費用

#### 総務費

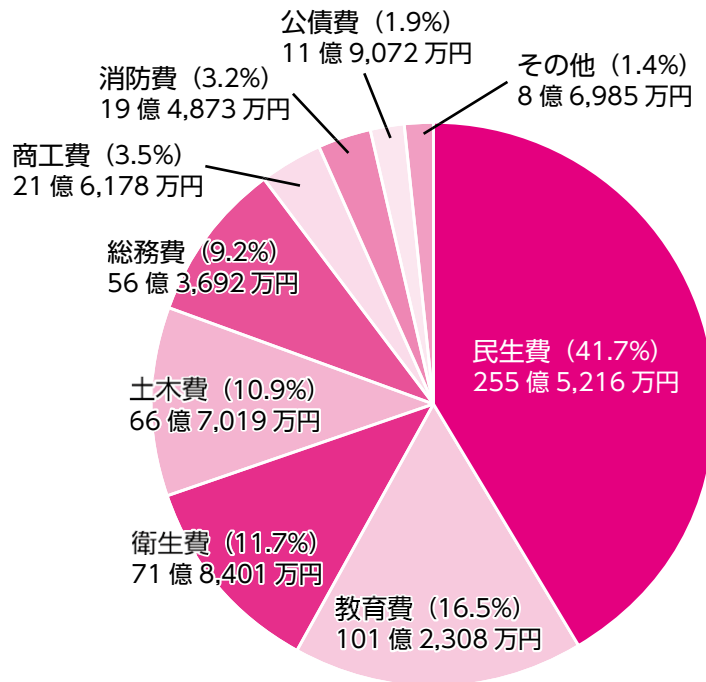
税務事務、選挙、統計調査、公共交通などの費用

#### 商工費

商工業、観光振興などの費用

#### 消防費

消防などの費用

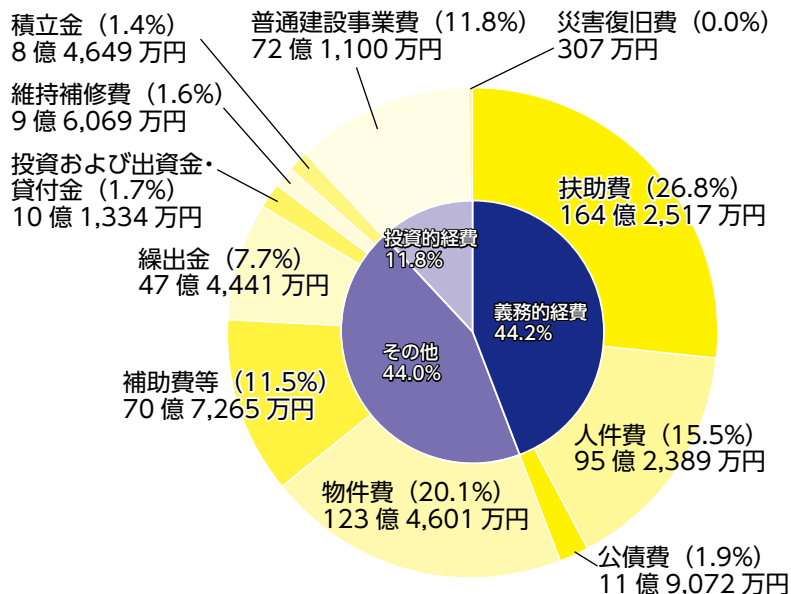


民生費が子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費の増、衛生費が新型コロナウイルスワクチン予防接種事業費の増となった一方、総務費が特別定額給付金支給事業費の皆減などにより減となったため、歳出総額は前年度に比べ、19.6%の減、歳入歳出差引額は、プラス32億8,649万円となりました。

## 歳出性質別決算額

右のグラフは、歳出決算額613億3,744万円について、扶助費などの義務的な支出なのか、公共事業など将来のために投資するための支出なのかなど、どのような経費として支出したかを表したものです。

- 扶助費／子ども・高齢者・障がい者への支援などに要する経費
- 人件費／職員の給与、議員の報酬などの経費
- 物件費／施設の光熱費や委託料などの経費
- 補助費等／一部事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費
- 繰出金／一般会計から特別会計・企業会計へ支出する経費
- 維持補修費／道路、公共施設などを修理・管理するための経費
- 普通建設事業費／道路、公共施設などを整備するための経費
- 義務的経費／支出することが制度的に義務付けられている経費
- 投資的経費／道路・学校など将来に残るものに対する経費



## 特別会計決算状況

### 特別会計とは

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、独立して管理される会計です。

国の制度として特別会計で処理することが定められているものもあります。

特別会計は、特定の目的や収入がある事業について一般会計と分け、それぞれの収支を明確にしています。8ある特別会計は、全体で歳入が258億9,294万円、歳出が256億551万円で、2億8,743万円の黒字となりました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
土地取得	2億 174万円	2億 174万円
国民健康保険事業	123億 2,675万円	123億 297万円
文津士地区画整理事業	3億 8,228万円	3億 6,716万円
岩崎山前地区画整理事業	4億 2,851万円	3億 4,271万円
小牧南地区画整理事業	4億 1,251万円	3億 9,640万円
本庄士地区画整理事業	8,254万円	7,656万円
介護保険事業	84億 8,801万円	83億 5,928万円
後期高齢者医療	35億 7,060万円	35億 5,869万円
合計	258億 9,294万円	256億 551万円

## 企業会計決算状況

### 企業会計とは

民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらうなど経営活動による収入で支出をまかなう「独立採算方式」の会計です。

企業会計の決算には、当該年度の経営活動に伴う「収益的収支」と、設備投資や借入金などの収支を表した「資本的収支」の2種類があります。企業会計の赤字・黒字は、1年間の経営成績を示す消費税および地方消費税抜きの損益計算書で判断します。

### 病院事業

	収入	支出
収益的収支 (税込決算額)	251億 4,433万円	248億 2,470万円
収益的収支 (損益計算書)	250億 3,894万円	247億 6,018万円
資本的収支 (税込決算額)	15億 5,182万円	42億 2,625万円

病院事業では、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の増加により、黒字決算となりましたが、今後も新病院建設に伴う減価償却費などにより、厳しい病院経営が見込まれることから、「小牧市民病院改革プラン」に基づき、経営の更なる健全化に努めていきます。

### 水道事業

	収入	支出
収益的収支 (税込決算額)	30億 6,934万円	25億 7,691万円
収益的収支 (損益計算書)	28億 2,151万円	24億 2,303万円
資本的収支 (税込決算額)	2億 7,573万円	13億 7,743万円

水道事業では、黒字決算となりましたが、今後も管路の耐震化など水道施設の更新に多額の費用が見込まれることから、令和元年度に策定した小牧市水道事業ビジョン・経営戦略に基づき財政基盤の強化、お客様サービスの向上に努めていきます。

### 下水道事業

	収入	支出
収益的収支 (税込決算額)	29億 8,105万円	29億 4,370万円
収益的収支 (損益計算書)	28億 5,055万円	28億 4,385万円
資本的収支 (税込決算額)	12億 556万円	15億 8,049万円

下水道事業では、黒字決算となりました。これは令和4年度への繰越財源を確保したことによるものです。しかしながら、一般会計からの補助に依存していることから、計画的に下水道整備を進めるとともに、経営の健全化に努めていきます。

## 令和3年度決算

一般会計 + 特別会計

歳入総額

905億 1,687万円

歳出総額

869億 4,295万円

- 翌年度へ繰り越すべき財源

= 実質収支額 約27億 8,509万円の黒字



# 令和3年度の主な事業

教育費 約101億円のうち

## 小学校の改築

### 小牧南小学校改築事業

〔決算額 22億5,038万円〕

施設の老朽化や児童数の増加に伴う狭隘化を解消するため、令和2年度から令和4年度の継続事業として、小牧南小学校改築工事を施工し、校舎および体育館が竣工しました。



民生費 約255億円のうち

## 施設の建設準備

### 第3老人福祉センター施設整備事業

〔決算額 8億4,806万円〕

高齢者の健康の増進や教養の向上を図るため、施設の整備を進めました。



土木費 約66億円のうち

## 小牧駅周辺の活性化

### 小牧駅周辺整備事業

〔決算額 6,735万円〕

小牧駅西側の駅西公園に芝生広場を整備しました。



衛生費 約71億円のうち

## 小牧市方式でワクチン接種の推進

### 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業

〔決算額 11億1,505万円〕

令和3年4月末から医療従事者に次ぐ優先順位に位置付けられている高齢者から順に、初回接種（2回）の新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施しました。接種開始以降、複数のワクチンが承認され、また、対象年齢も拡大されるとともに、令和3年12月からは、追加接種（3回目）が開始される中、ワクチン接種を実施しました。

## 新型コロナウイルス感染症対策（主なもの） 市民生活の安定、地域経済の下支え

### こまきプレミアム商品券（※通常分を含む）

〔決算額 3億467万円〕

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域経済の活性化と市民の生活支援を図るため、プレミアム率を20%、販売数を12万セットに拡大して実施したこまきプレミアム商品券発行事業に対して補助をしました。予定していた12万セットが完売しました。

### こまき応援食事券

〔決算額 6,901万円〕

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ市内飲食店の消費需要の喚起、地域経済の活性化、市民の生活支援を目的に、プレミアム率100%のこまき応援食事券事業を実施しました。

### 子育て世帯応援給付金の支給

〔決算額 1億9,852万円〕

家庭環境や境遇にかかわらず、すべての子ども達が夢を育み、未来を描いて挑戦することができるよう、国の子育て世帯への臨時特別給付金を受け取ることができない子育て世帯に対して給付金を支給しました。

### その他にも…

- ・子育て世帯生活支援特別給付金の支給  
〔決算額 6,841万円〕
- ・新型コロナウイルス感染症対策  
〔決算額 6,529万円〕
- ・新型コロナウイルス感染者への生活支援  
〔決算額 698万円〕

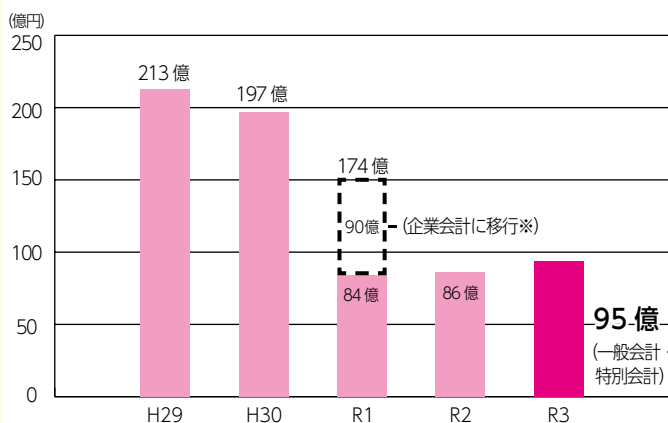
など

## 全項目で健全化基準をクリア

4つの健全化判断比率では早期健全化基準を、資金不足比率では経営健全化基準を下回っており、市の財政は健全であるといえます。

指標	健全化判断比率				資金不足比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (3カ年平均)	将来負担比率		
説明	財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	財政規模に対する全会計の赤字の割合	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合	公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	
令和3年度	赤字なし	赤字なし	0.8%	実質的な将来負担なし	資金不足なし	
令和2年度	赤字なし	赤字なし	0.0%	実質的な将来負担なし	資金不足なし	
国が示す基準	早期健全化基準	11.67%	16.67%	25.0%	350.0%	経営健全化基準 20.0%
	財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	—	

## 借 市債残高の推移 計画的な市債発行を行っています

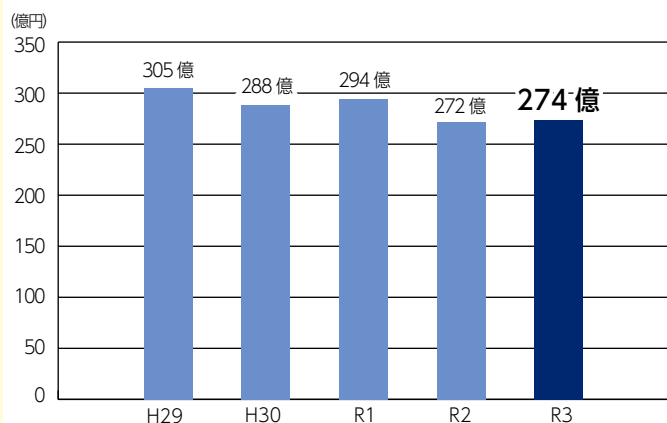


**市債**とは、学校や福祉施設などを建設する場合のように、長期間にわたって多くの市民が利用することができ、多額の費用が必要なもののために、市が、政府・地方公共団体金融機構・銀行などから調達する長期的な借入金のことです。

一般会計・特別会計を合わせた令和3年度末現在高は、小牧南小学校、第3老人福祉センター、高機能消防指令設備の整備による借入などにより約95億円となり、前年度末より約9億円の増となりました。

※平成31年4月1日に公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計が企業会計に移行しました。

## 貯 基金残高の推移 計画的に積み立て・活用しています



**基金**とは、特定の目的のために積み立てることで、後年度の財政負担を軽減し、計画的な財政運営を行うための貯金です。

財政調整基金や積立型基金など、全ての基金の合計残高は約274億円となり、前年度末より約2億円の増となりました。

## ～借入金を抑え健全財政に努めています～



「市債」は、単に赤字を補う借金ではなく、耐用年数が長く多くの市民の利用を見込む施設について、将来の市民も同様に利益を受けると考えられるので、現在の市民がすべて負担するのではなく、長期に分割して支払うことで、将来の市民にも公平に費用を負担してもらおうという制度です。

市では、適切な金額を借入れており、財政の規模に対する市債の借り入れ状況についての指標(地方債残高÷標準財政規模：令和3年度決算 0.28)は県内第2位と、県内の他の都市と比較しても**たいへん良質な数値**となっています。